

浮世絵 ぬり絵シリーズ ①



鈴木春信 《官女》 明和4年（1767）頃 中判錦絵 William Sturgis Bigelow Collection, 11.19509

江戸時代中ごろに彗星のごとく現れた浮世絵師・鈴木春信は、錦絵の始まりになくてもはならない人物でした。

天性の色彩感覚を生かして描かれた春信の美しい錦絵は、江戸の人々の生活を彩り、のちの浮世絵師にも多大な影響を与えました。

制作: 3 年 10 月 28 日

作 者 名
(ニックネーム)

白 玉 椿

ご応募の際は 忘れずに 裏面に 住所・氏名を書いてください